

戦後イタリアンデザインの創始者たちは、デザインと言う用語がイタリア語に定着するまで、自分たちの仕事を「プロジェッタツィオーネ」（プロジェクトを考案し実践するという意味）という言葉で理解し、実践していました。これは、単なる「デザイン」の訳語ではなく、その概念は現在の経済至上主義のシステムに完全に組み込まれた「デザイン」に比べ、倫理性、社会性に優れ、その守備範囲も遥かに広汎でした。

ひたすら作り消費することに専念する現代社会の傾向とは逆に、アキッレ・カスティリオーニ、ブルーノ・ムナーリら、「プロジェッタツィオーネ」の実践者たちは、進歩とともに反省的思考を忘れず、彼らの究極の目標は、商品の生産と消費より、人間の生活環境の改善に置かれていました。この奇跡的なバランスをもった創造力は、今も少数派とは言え、イタリアでは多様な分野で活躍する人々によって受け継がれています。

カスティリオーニや現代の後継者たちの仕事の中に、現代の自然環境、社会環境、精神環境の健全さを支えるサステイナブルな創造の知恵を見いだしてみましょう。



講演者 多木 陽介 氏

演出家、アーティスト、批評家。1962年生まれ。1988年に渡伊、現在ローマ在住。演劇活動や写真を中心にした展覧会を各地で催す経験を経て、現在は多様な次元の環境（自然環境、社会環境、個人の精神環境）においてエコロジーを進める人々を扱った研究を展開。芸術活動、文化的主題の展覧会のキュレーションおよびデザイン、講演、そして批評と多様な方法で、生命をすべての中心においた人間の活動の哲学を探究する。著書に『アキッレ・カスティリオーニ——自由の探求としてのデザイン』（アクシス、2007年）、『(不)可視の監獄——サミュエル・ベケットの芸術と歴史』（水声社、2016年）など。

講演会

プロジェッタツィオーネに学ぶ サステイナブルな創造力

日 時：2019年2月15日（金） 18時15分～19時45分

会 場：名古屋大学理学部 E 館 1 階 クレイグスカフェ・サロンスペース

参加費：無料（定員 30 名：要申込）〈カフェでの飲み物等の購入をお願いします〉

主 催：名古屋大学大学院環境学研究科 小松研究室
後 援：名古屋大学大学院環境学研究科 附属持続的共発展
教育研究センター
協 力：ユネスコ・デザイン都市なごや推進事業実行委員会

申 込：2月11日（月）までに「2/15 講演会」の表題
を付けたメールで下記へお申込みください。

参加申込・問い合わせ：
名古屋大学小松研究室 小松 尚
c42719a@cc.nagoya-u.ac.jp

《会場案内図》

